

第6回EBPMアドバイザリーボードでの ご指摘事項

2022年4月

内閣府政策統括官（経済社会システム担当）

第6回EBPMアドバイザーボード 委員の指摘事項

データ

- ・ 変化が激しい時代に対応するためより、多頻度で公表されるデータを使い、KPIも適宜見直すべき。
- ・ データの解像度も上げてほしい。
- ・ 業務統計のオープンデータ化も検討すべき。
- ・ 政策目標からデータの整備や分析方法の在り方も考えるべき。
- ・ データの収集については地方自治体や地方の出先機関などの活用も重要。

分析手法

- ・ 統計的有意の有無でなく、どの程度政策効果があるのかをきちんと考えるべき。
- ・ 平均値だけでなく、格差にも目を向ける必要がある。
- ・ 実施する前のデータも集めて、政策実施後と比較する必要あり。

分析結果の評価や活用方法

- ・ 財政効果や経済効果に着眼すべき。
- ・ 分析を深掘するだけでなく、政策への活用も重要。
- ・ 地域差を踏まえた分析も行うべき
- ・ 複数の指標で総合的に評価するときにはそれぞれの項目の重みを考慮する必要がある。
- ・ 費用対効果の観点から検証すべき。
- ・ 複数の省庁間の連携も考えるべき。

EBPM全般にか かるもの

- ・ 分析結果の広報に努めるべき。
- ・ 高度なことのみ志向するのではなく、できることを少しずつ積み上げるべき。
- ・ データが少ないなどから完璧な分析はできない段階においても、きちんと政策評価・立案を実施することが重要。